

■バーゼルⅡ 第3の柱（市場規律）に基づく開示

銀行法施行規則（昭和57年大蔵省令第10号。以下「規則」という。）第19条の2第1項第5号ニに規定する自己資本の充実の状況について金融庁長官が別に定める事項（平成19年3月23日金融庁告示第15号、いわゆるバーゼルⅡ第3の柱（市場規律））として、当該告示に則り、本章で開示しております。

定量的な開示事項

1. 連結自己資本比率の控除項目の対象となる非連結子会社のうち規制上の所要自己資本比率を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当する会社はございません。

2. 自己資本の構成及び自己資本比率

自己資本の構成及び自己資本比率については、P.31～32（自己資本比率の状況）に記載しております。

3. 信用リスクに対する所要自己資本の額

（単位：百万円）

	平成21年9月期				平成22年9月期			
	単体		連結		単体		連結	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(A) (標準的手法)	278,693	11,147	278,810	11,152	284,793	11,391	284,936	11,397
【資産（オン・バランス）項目】計	276,757	11,070	276,874	11,074	283,897	11,355	284,039	11,361
現金	—	—	—	—	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—
国際決済銀行等向け	—	—	—	—	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—	—	—	—	—
国際開発銀行向け	—	—	—	—	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—	—	—	—	—
我が国の政府関係機関向け	18	0	18	0	17	0	17	0
地方三公社向け	22	0	22	0	21	0	21	0
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	5,771	230	5,771	230	6,232	249	6,232	249
法人等向け	90,106	3,604	90,106	3,604	91,709	3,668	91,709	3,668
中小企業等向け及び個人向け	40,011	1,600	39,994	1,599	41,613	1,664	41,588	1,663
抵当権付住宅ローン	34,442	1,377	34,427	1,377	36,475	1,459	36,463	1,458
不動産取得等事業向け	59,836	2,393	59,836	2,393	64,943	2,597	64,943	2,597
三月以上延滞等	3,821	152	3,880	155	1,657	66	1,736	69
取立未決済手形	8	0	8	0	7	0	7	0
信用保証協会等による保証付	5,519	220	5,519	220	4,917	196	4,917	196
株式会社産業再生機構による保証付	—	—	—	—	—	—	—	—
株式会社企業再生支援機構による保証付	—	—	—	—	—	—	—	—
出資等	18,331	733	18,311	732	18,970	758	18,960	758
上記以外	14,626	585	14,736	589	14,397	575	14,507	580
証券化（オリジネータの場合）	—	—	—	—	—	—	—	—
証券化（オリジネータ以外の場合）	811	32	811	32	568	22	568	22
複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	3,428	137	3,428	137	2,365	94	2,365	94
【オフ・バランス取引等項目】計	1,935	77	1,935	77	896	35	896	35
原契約期間が1年以下のコミットメント	20	0	20	0	20	0	20	0
原契約期間が1年超のコミットメント	1,489	59	1,489	59	518	20	518	20
信用供与に直接的に代替する偶発債務（うち借入金の保証）	425	17	425	17	357	14	357	14
オペレーショナル・リスク (B) (基礎的手法)	18,177	727	18,390	735	17,959	718	18,205	728
総所要自己資本額 (A) + (B)	296,871	11,874	297,200	11,888	302,753	12,110	303,141	12,125

(注) 所要自己資本額＝リスク・アセット×4%

●個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳

【単体】

(単位：百万円)

	期首残高		当期増減額		期末残高	
	21年9月期	22年9月期	21年9月期	22年9月期	21年9月期	22年9月期
国内計	2,185	1,657	△403	△408	1,782	1,248
国外計	—	—	—	—	—	—
地域別計	2,185	1,657	△403	△408	1,782	1,248
製造業	205	207	△1	56	203	263
農業・林業	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	46	63	△6	6	40	69
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	5	2	10	—	16	2
運輸業・郵便業	79	78	△1	△1	78	77
卸・小売業	166	95	17	3	183	99
金融・保険業	—	—	—	—	—	—
不動産業	764	751	△123	△518	640	233
不動産賃貸管理業	2	2	1	11	3	14
各種サービス業	594	—	△241	—	352	—
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—
学術研究・専門・技術サービス業	5	—	0	—	5	—
宿泊業	—	58	—	△29	—	29
飲食業	—	22	—	4	—	27
生活関連サービス業・娯楽業	—	1	—	11	—	13
教育・学習支援業	—	3	—	△1	—	2
医療・福祉	—	84	—	49	—	133
その他のサービス	—	36	—	16	—	53
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—
個人による貸家業	235	136	△31	6	204	142
個人	77	99	△25	△25	51	74
その他	6	7	△0	—	6	7
業種別計	2,185	1,657	△403	△408	1,782	1,248

(注) 日本標準産業分類の改定(平成19年11月)に伴い、平成21年9月期から業種の表示を一部変更しております。

【連結】

(単位：百万円)

	期首残高		当期増減額		期末残高	
	21年9月期	22年9月期	21年9月期	22年9月期	21年9月期	22年9月期
国内計	2,498	2,013	△337	△316	2,160	1,696
国外計	—	—	—	—	—	—
地域別計	2,498	2,013	△337	△316	2,160	1,696
製造業	205	207	△1	56	203	263
農業・林業	—	—	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建設業	46	63	△6	6	40	69
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	5	2	10	—	16	2
運輸業・郵便業	79	78	△1	△1	78	77
卸・小売業	166	95	17	3	183	99
金融・保険業	—	—	—	—	—	—
不動産業	764	751	△123	△518	640	233
不動産賃貸管理業	2	2	1	11	3	14
各種サービス業	594	—	△241	—	352	—
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—
学術研究・専門・技術サービス業	5	—	0	—	5	—
宿泊業	—	58	—	△29	—	29
飲食業	—	22	—	4	—	27
生活関連サービス業・娯楽業	—	1	—	11	—	13
教育・学習支援業	—	3	—	△1	—	2
医療・福祉	—	84	—	49	—	133
その他のサービス	—	36	—	16	—	53
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—
個人による貸家業	235	136	△31	6	204	142
個人	391	456	39	66	430	522
その他	6	7	△0	—	6	7
業種別計	2,498	2,013	△337	△316	2,160	1,696

(注) 日本標準産業分類の改定(平成19年11月)に伴い、平成21年9月期から業種の表示を一部変更しております。

●業種別の貸出金償却の額

(単位：百万円)

	貸出金償却			
	単体		連結	
	21年9月期	22年9月期	21年9月期	22年9月期
製造業	—	—	—	—
農業・林業	—	—	—	—
漁業	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—
建設業	—	—	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—
情報通信業	—	—	—	—
運輸業・郵便業	—	—	—	—
卸・小売業	—	—	—	—
金融・保険業	—	—	—	—
不動産業	—	—	—	—
不動産賃貸管理業	—	—	—	—
各種サービス業	—	—	—	—
物品賃貸業	—	—	—	—
学術研究・専門・技術サービス業	—	—	—	—
宿泊業	—	—	—	—
飲食業	—	—	—	—
生活関連サービス業・娯楽業	—	—	—	—
教育・学習支援業	—	—	—	—
医療・福祉	—	—	—	—
その他のサービス	—	—	—	—
国・地方公共団体	—	—	—	—
個人による貸家業	—	—	—	—
個人	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
業種別計	—	—	—	—

(注) 日本標準産業分類の改定(平成19年11月)に伴い平成21年9月期から業種の表示を一部変更しております。

●リスク・ウェイトの区分毎の信用リスク削減手法の効果をもとにした後の残高および資本控除した額

【単体】

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	21年9月期		22年9月期	
	格付適用	格付不適用	格付適用	格付不適用
0%	—	78,232	—	82,711
10%	—	55,962	—	50,214
20%	15,424	153	20,318	144
35%	—	98,449	—	104,245
50%	6,547	1,224	5,553	2,030
75%	—	58,652	—	58,930
100%	10,729	181,757	14,078	184,350
150%	3,144	1,248	1,993	879
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	△107	—	△36
合計	35,846	475,574	41,942	483,471

(注) 1. 「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャー。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限る。
2. 「格付適用」エクスポージャーには、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーや、ソブリン格付に準拠したリスク・ウェイトを適用しているエクスポージャーが含まれる。

【連結】

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	21年9月期		22年9月期	
	格付適用	格付不適用	格付適用	格付不適用
0%	—	78,233	—	82,711
10%	—	55,962	—	50,214
20%	15,424	153	20,318	144
35%	—	98,406	—	104,211
50%	6,547	1,342	5,553	2,138
75%	—	58,629	—	58,897
100%	10,729	181,726	14,078	184,313
150%	3,144	1,329	1,993	987
350%	—	—	—	—
自己資本控除	—	△107	—	△36
合計	35,846	475,675	41,942	483,582

(注) 1. 「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャー。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限る。
2. 「格付適用」エクスポージャーには、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーや、ソブリン格付に準拠したリスク・ウェイトを適用しているエクスポージャーが含まれる。

5. 信用リスク削減手法に関する事項

●信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	単体	連結	単体	連結
適格金融資産担保が適用されたエクスポージャー	3,113	3,113	3,738	3,738
保証またはクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャー	2,269	2,269	257	257

7. 証券化エクスポージャーに関する事項

イ. 銀行がオリジネーターである証券化エクスポージャーに関する事項

銀行がオリジネーターである証券化エクスポージャーはございません。

6. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

派生商品取引及び長期決済期間取引はございません。

ロ. 銀行が投資家である証券化エクスポージャーに関する事項

●投資家として保有する証券化エクスポージャーの額

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	単体	連結	単体	連結
住宅ローン債権	954	954	568	568
自動車ローン債権	—	—	—	—
カードローン債権	—	—	—	—
リース債権	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	954	954	568	568

●投資家として保有する証券化エクスポージャーのリスク・ウェイト毎の残高及び所有自己資本

【単体】

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	残高	所要自己資本	残高	所要自己資本
20%	—	—	—	—
50%	286	5	—	—
100%	668	26	568	22
自己資本控除	—	—	—	—
合計	954	32	568	22

【連結】

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	残高	所要自己資本	残高	所要自己資本
20%	—	—	—	—
50%	286	5	—	—
100%	668	26	568	22
自己資本控除	—	—	—	—
合計	954	32	568	22

●投資家として保有する証券化エクスポージャーのうち、告示第247号の規定により自己資本から控除した証券化エクスポージャーの額

該当ございません。

●自己資本比率告示附則第十五条の適用による信用リスク・アセットの額

該当ございません。

8. 銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

●銀行勘定における出資等の貸借対照表計上額および時価

【単体】

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	貸借対照表計上額	時価	貸借対照表計上額	時価
上場している出資等	18,707	—	18,802	—
上記に該当しない出資等	1,481	—	1,471	—
合計	20,189	20,189	20,274	20,274

【連結】

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	貸借対照表計上額	時価	貸借対照表計上額	時価
上場している出資等	18,707	—	18,802	—
上記に該当しない出資等	1,131	—	1,131	—
合計	19,839	19,839	19,934	19,934

●銀行勘定における出資等の売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	単体	連結	単体	連結
売却損益額	675	675	△65	△65
償却額	97	97	165	165

●貸借対照表で認識され、損益計算書で認識されない評価損益の額、貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	単体	連結	単体	連結
貸借対照表で認識され、損益計算書で認識されない評価損益の額	△2,211	△2,211	△3,417	△3,417
貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額	—	—	—	—

9. 銀行勘定における金利リスクに関して銀行が内部管理上使用した金利ショックに対する損益又は経済的価値の増減額

●金利リスク量と経済価値低下率（アウトライヤー比率）

(単位：百万円)

	21年9月期		22年9月期	
	単体	連結	単体	連結
金利リスク量	4,749	4,749	5,522	5,522
経済価値低下率（アウトライヤー比率）	14.67%	14.67%	16.70%	16.70%

(注) 1. 金利リスク量
金利リスクのある銀行勘定（資産及び負債）に200bpの平行移動による上下金利ショックを与え、リスク量〔現在価値の変動額〕を計測。
〔リスク量〔現在価値の変動額〕の算出方法は、修正デュレーション×簿価×200bpにて算出〕
※修正デュレーション…金利変動に対する価格の感応度
・上方金利ショック＝運用部門の現在価値は減少、調達部門の現在価値は増加。
・下方金利ショック＝運用部門の現在価値は増加、調達部門の現在価値は減少。
・運用・調達残高や、その平均残存期間の長短により現在価値は変化する。

2. 経済価値低下率（アウトライヤー比率）
バーゼルII第2の柱のアウトライヤー規制における比率。
算出方法…金利リスク量÷（Tier1+Tier2）